TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

力の福音：信仰の盾

エフェソの信徒への手紙 6 章 16 節

2024 年 3 月 2 日 & 3 日

余沢 武 牧師

I. 初めに

こんにちは。復活の週末であるイースターが 4 週間後になりました。グッド・フライデー（受難日）の祈りの礼拝を 3 月 29 日の午後 7 時 30 分から行います。どうぞいらしてください。チラシが用意されているので、ご友人を招待するためにお使いください。

エフェソの信徒への手紙で、クリスチャンとして私たちの人生は全く違うものになったと学んできました。「神の似姿」の新しい者たちへと変えられていくにつれ、怒りや不品行から離れ、謙虚さ、親切さや従順を身に付けていくようになります。

しかし、私たちの敵である悪魔が策略を用いて邪魔をし、私たちが家庭、教会やあらゆるところで、謙遜で親切な交わりではない、お互いに争うようにするのです。パウロは私たちが、これに対して「神の武具」を身に付け立ち向かわなければならないと言います。

一番目は、「真理の帯」です。私たちの目標は、「神の似姿」を表すことです。
二番目は、「正義の胸当て」です。常に神の基準に従った正しいことをしましょう。
三番目は、「履物」です。自分の予定、願いを差し出す準備をし、他の人を、無私で愛しましょう。

いつでもこのような心持ちでいましょう。今日は、敵に攻撃された時に私たちがするべき事をみていきましょう。その前に祈りましょう。

II 信仰の盾

(1)信仰の盾

エフェソの信徒への手紙第 6 章 16 節を開きましょう。
「16 これらすべてと共に、信仰の盾を手に取りなさい。それによって、悪しき者の放つ燃える矢をすべて消すことができます。」

私たちが敵の攻撃を感じた時、帯、胸当てと平和の履物とともに、パウロは「盾」つまり、「信仰の盾」を手に取る必要があると言います。

ここで言う「盾」とは、小さな丸い盾ではなく、ドアのような大きな盾のことで、この盾で人の全身を隠すことができます。2 枚の木を接着剤で貼り合わせ、亜麻と子牛の皮で覆い、上下には鉄がはめ込まれています。

戦いの前に、それを水に浸し、子牛の皮をしっかりと濡らし、燃える矢から火が燃え広がらないようにします。

パウロは、私たちが手に取る盾とは、私たちの「信仰」だと言います。エフェソ信徒への手紙では、この節の前に「信仰」（「faith」、「belief」）という言葉が 8 回使われています。

それらはしばしば、福音に対する私たちの「信仰」を示しています。つまり、私たちが、イエスの十字架での死を私たちの罪のための罰であると受け入れ、イエスと共に死に、イエスと共によみがえり、イエスと共に治めるために天に上ると信じる信仰です。私たちがこれまでしてきたことです。

しかし、数ヶ所において、今なお私たちがしなければならないこと、あるいは手に取るべきことを示しています： 聖霊の助けを信じることによって、私たちは今、”神の似姿 ”になっていくことができるという信仰です。

例えば、エフェソの信徒への手紙 3 章 16 節－17 節です。
「16 どうか、御父が、その豊かな栄光に従い、その霊により、力をもってあなたがたの内なる人を強めてくださいますように。17 あなたがたの信仰によって、キリストがあなたがたの心の内に住んでくださいますように。」

キリストが私たちの心に住まわれることを通して与えられる「信仰」がここにあります。

この学びで、クリスチャンとして、イエスは私たちの内住の聖霊を通して、いつも私たちの内におられることについて話してきました。しかし、パウロはそれ以上のことを祈っているのです。イエスが

私たちの人生に「住まわれ」、また「コントロール」してくださるようになることを祈っているのです。

イエスの初期の宣教期間、イエスは弟子たちと住まわれました。弟子たちは、嵐の時、病人や空腹の人々を前にした時、イエスの助けを求め、助けを受け続けました。

ですから、パウロは、私たちもイエスが私たちの内に住まわれ、イエスの助けを求め、助けを受け続けると信じるよう祈っているのです。

これが、私たちが手に取らなくてはいけない「信仰の盾」です。私たちは、イエスが私たちの内に住まわれていることを信じ、私たちの真理の帯である「神の似姿」を示すという目標からそれないように、信仰によってイエスに助けを求める必要があります。

(2)悪しき者の放つ燃える矢

パウロは、そのような「信仰」が「悪しき者の放つ燃える矢をすべて消すことができる」と言います。私たちは悪しき者と厳しい霊的な戦いをしている最中です。悪魔の策略の一つは、私たちがそれに気づかないようにすることです。

音もなく、悪魔はあらゆる方向から「燃える矢」を放ってきます。もし私たちがそれらの矢が当たるのを許したら、私たちのクリスチャンとしての生活は滅茶苦茶になってしまいます。もしこの矢を見ることが出来ないなら、人生に起こる問題を理解することはないでしょう。

しかし、これらの攻撃は悪魔の矢ですから、私たちがこの攻撃について知っておくべきことがあります。

ヨハネによる福音書 8：44 で、イエスはパリサイ人にこう言っています。「**あなたがたは、悪魔である父から出た者であって、その父の欲望を満たしたいと思っている。悪魔は初めから人殺しであって、真理に立ってはいない。彼の内には真理がないからだ。悪魔が偽りを言うときは、その本性から言っている。自分が偽り者であり、偽りの父だからである**」。

悪魔の燃える矢には次の特徴があります。

それらは嘘であり、偽りの観念であり、私たちを真理から、神の似姿を表すことから遠ざけるためのものです。

私たちがこれらの偽りの観念を受け入れる時、罪に襲われてしまいます。性的不品行を行う者、怒る者、恨む者、不従順な者になります。しかし、攻撃されているとは気づきません。

ご存じかもしれませんが、これは、エスキモーが狼を殺すのにとてもよく似ています。まず、ナイフの刃に動物の血を何層にも塗って凍らせ、刃を上にして地面に固定します。すると血の匂いに誘われてやってきた狼がナイフを舐めます。血を舐めて、狼はそれが大好きになります。

もっと早く舐めます。刃が狼の舌を切りますが、凍るような寒さなので狼は痛みに気づきません。そして、狼は死ぬまで自分の血を舐めるのです。

これが燃える矢が私たちを攻撃するやり方です。とても巧妙なだまし方をするので、私たちは、それが大好きになります。 私たち自身が壊れるのを許してしまうので性的不品行を行い、怒り、恨み、不従順となってしまうのです。 しかし、自分が攻撃されていることすら気づいていません。

悪魔はいつもわたしたちを巧みに誘惑してきます。それは―「肉の欲」「目の欲」「生活のおごり」―といわれるもので、肉の欲望を満足させ、金や成功、人々の尊敬を集めることへの誘惑です。

(3) 信仰の盾を手に取りなさい

パウロは、私たちが不品行、怒りに襲われ攻撃されている時、「信仰の盾を手に取りなさい」と言っています。イエスが私たちの内に住まわれていると信じて、信仰によってイエスに「神の似姿」を表すという目標から外れていかないように助けを求めてください。

私たちが「信仰の盾」を手に取った途端、燃える火の矢は、水で濡れた亜麻と子牛の皮の中で消えていきます。火は消され、不品行を渇望する心、怒り、恨み、不従順は中和されて、やがて収まっていきます。

例えば、日本はすばらしい国です、人々は優しいし、至る所清潔です。しかし、日本には日本の課題があります。例えば、ゴミを外に出すとき、きちんと出さなければいけません。

燃えるゴミ、プラスチック、リサイクル等、正しく分類しなければなりません。ごみ収集日のちょうど良い時間に出し、きちんとゴミをネットで覆わなけ

ればなりません。そうしないと、カラスがゴミを荒らしてしまいます。

さてそこで、誰かがきちんとやらなかった時、清潔な通りにしたいという私たちの願いが、私たちを襲ってくるかもしれません。私たちの中で怒りが爆発するのを感じるかもしれません。
あるいは、もしかしたら、私たちがきちんとやらないかもしれません。近所の方が何か言ってくるかもしれません。プライドが傷つき、彼らを恨む思いが私たちを襲ってくるのに気付くかもしれません。

そんな時、「信仰の盾」を手に取りましょう。これが「燃える矢」が私たちをとらえるやり方です。イエスが私たちの内におられると信じましょう。「神の似姿」を表すという私たちの目標から外れることがないように、イエスに助けを求めましょう。

TBC は、神の家族です。ここでは、他の人に仕えるためにメンバーが自分自身を捧げています。賛美をリードする方たちのほとんどが素人のミュージシャンです。人々を案内する人のほとんどが素人の案内係です。クラスを教える先生のほとんどが素人の先生です。みな、自分の賜物を使って謙虚に奉仕をしています。

でも、プロのサービスを受けることに慣れてしまうと、批判的になったり、怒りを覚えたりすることもあるかもしれません。

信仰の盾を手に取りましょう。繰り返し言いますが、悪魔の燃える矢が来ているのです。イエスが私たちの内におられると信じ、「神の似姿」を表すという私たちの目標から外れていかないようにイエスに助けを求めてください。

教会の健康的なモデルには様々なものがあります。TBC は目的主導型教会（パーパス・ドリブン）のモデルを採用しています。つまり、私たち全員がバランスの取れた方法で神を礼拝する生活を送ることができるように、メンバーシップ、弟子訓練、ミニストリー、宣教という聖書の目的を重視したクラスを設けています。

良いモデルではありますが、気を付けなくてはいけません。
この教会モデルが流行っていた頃、他の教会で、健全な教会を望むあまり、パーパス・ドリブン・チャーチのモデルを採らない牧師に批判的な人がいたという話を聞いたことがあります。

これは、どのミニストリーの方針でも、ミッションの方針でも起こり得ることです。好みが異なるのは何も悪いことではありません。しかし、気を付けないと、良いものを望むあまり、怒りや恨みに支配されてしまいかねません。

パウロも言います。「信仰の盾を取りなさい。悪魔の燃える矢が飛んでくることを認識しなさい。 イエスが心の内にいることを信じなさい。『神の似姿』を表すという私たちの目標から、それてしまわないように、イエスに助けを求めましょう。」

(4)結論
誰もが家や、仕事、学校、教会での理想の状況があります。しかし、気を付けてください。それが私たちの「目標」ではありません。それらの事が私たちの「目標」となる時、私たちは、不品行、怒り、恨みや不従順に支配されてしまいます。

クリスチャンの家庭では、すべてを正しく行うことができます。仕事や学校で成果を出し、皆で教会に行き、QT（神様と過ごす聖書と祈りの時）を持ち、献金をし、スモール・グループに参加し、奉仕をし、他の人に福音を分かち合うことができます。

しかし、私たちの心の中に、不品行、怒り、恨みを抱いているかもしれません。パウロは、騙されないようにと言っています。 悪魔の「燃える矢」で攻撃されているのです。「信仰の盾を手に取り」ましょう。イエスに助けを求めてください。そうすれば、「神の似姿」を表すという私たちの目標から外れていくことはありません。

クリスチャンでない方々も、あなたを不品行、怒り、恨み、不従順へと誘う炎の矢に気づくかもしれません。イエスに助けを求めてください。イエスを救い主として受け入れてください。そうすれば、あなたも「信仰の盾」を手に取ることができるのです。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg1024jp

★クラス 402
教会員になるためのクラス
3 月 10 日（日）1:00pm – 5:00pm
参加条件: クラス 101 まで修了した TBC 教会員
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu